～～～

対面リーディングと私

対面リーディングボランティア　大島（おおしま）　幸子（ゆきこ）

ライトハウスの対面リーディング講習を受講したのが、2014年9月。10月から実際に対面リーディングを始めさせてもらって早や5年が過ぎました。

講習を受けるきっかけは、音訳ボランティア（録音）で知り合い仲良くなった友人です。彼女はずっと対面をしたいという思いがあって、講習に参加する時に、私に「一緒に行ってみませんか」と声をかけてくれました。今も共に対面リーディングを続けさせてもらっています。

これまで続けることができたのは、楽しいからです。録音の場合とは違って、対面の日に利用者さんとお会いして、読み始めるまでにちょっとしたお話を聞かせていただくのも楽しみですし、利用者さんの反応がすぐに得られる状態で読めるのもうれしいです。

自分では読まないような本に出合えて新しい発見ができたり、利用者さんが読まれる本に興味がわいて書店に注文したこともあります。

読み方がわからなくて困ることもありますが、利用者さんが教えてくださり助けていただくことも多いです。

対面リーディングを通して、利用者さんのさまざまな分野への尽きない好奇心や、これまで培ってこられた知識の豊富さを肌で感じすごいと思います。

これからも健康に気をつけて、さまざまな学びを心がけ、よりわかりやすい読みを目指して日々挑戦し、長く対面リーディングを続けていきたいと思います。

対面リーディングが終わると、利用者さんが「ありがとうございました」と言ってくださいます。私も「ありがとうございました」とお礼を言います。また次もお会いできるのを楽しみにとの思いを込めて。

【職員より】

いつも明るい笑顔でハキハキと応対してくださる大島さん、お話しを伺っていると自然とこちらも元気をいただいています。対面を終えて部屋を出られる時も、利用者さんといつも楽しそうにお話をされていて、とても良い関係を築かれている様子が伝わってきます。

これからもどうぞよろしくお願いいたします。

若ごぼうと河内音頭　～ 八尾 ～

製作部　メディア製作センター　太田（おおた）　和美（かずみ）

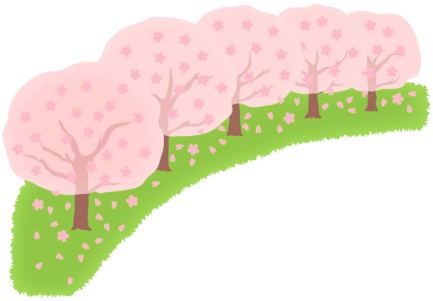
私のふるさとは八尾です。三歳から、最近引越しをするまでずっと住んでいました。

私は学生時代、近鉄八尾駅を利用していましたが、当時の八尾駅は、まだ高架ではなく、線路の北側にあったコクヨ八尾工場から線路までの間には、田んぼが広がっていました。今は、大型ショッピングモールができ、ビルやマンションがたくさん建っていて、八尾を訪れるたびに「変わったわぁ」と思います。そんな私が、「今も変わらぬ“八尾”」と思うものを三つ紹介します。

一つ目は、若ごぼうです。毎年３月ごろから八百屋の店頭に並びだしたので、「若ごぼうが並びだしたね。春が来たね。」と、家族で話した思い出があります。今も油揚げと一緒に炒め煮をして食べていますが、引越しをして八尾を離れてから、八尾市の特産野菜だと知りました。

若ごぼうは、食物繊維・鉄分・カルシウムが豊富な野菜です。また、根も茎も葉も全部一緒に調理して炒め煮ができますが、インターネットでレシピを検索すると、「かき揚げ」や「ポタージュ」など、いろいろなレシピが紹介されています。一度挑戦してみたいと思っています。

二つ目は、玉串川沿いの桜並木です。近鉄山本駅の北側２キロメートルあたりから、南側の恩智駅近辺まで、川沿いに約1000本のソメイヨシノが植えられています。川沿いは、普段から憩いの散歩コースになっていますが、開花の時期は本当にきれいな桜並木が続き、桜のトンネルのようになります。家族と花見に行ったり、のんびり友だちと散歩をしたりしました。夜には、ぼんぼりのあかりでライトアップされて、幻想的な夜桜も楽しむことができます。「大阪みどりの百選」にも選ばれています。



三つ目は、「河内音頭」です。近鉄八尾駅の近くにある常光寺（じょうこうじ）は、奈良時代に聖武天皇の勅願によって建てられたと伝えられる古い寺です。ここでは、毎年8月23、24日、地蔵盆会の夜、河内音頭による地蔵盆踊りが行われています。

私が子供の頃は、境内いっぱいに人が集まり、何重もの輪になって踊りました。また、音頭取りの唄に合わせて、踊り子の老若男女（本当に文字通り）が、「エンヤコラセ～、ドッコイセ」と、大きな声で合いの手を入れて盛り上がっていました（今は声を出す人が少ないようです。残念）。

また、毎年「八尾河内音頭まつり」が久宝寺緑地で行われています。2017年には、「最多人数で踊る盆踊り」でギネスに挑戦し、世界記録を2872人に塗り替えたそうです。

春の桜と若ごぼう。夏の河内音頭。八尾の魅力は他にもたくさんあると思います。わがふるさと“八尾”をぜひ味わってください。

人物・図書紹介

『話すこと』

松岡（まつおか） 享子（きょうこ） 著

対面リーディング・ボランティア　澤井（さわい） 稔（みのる）

対面リーディングの機会を得て数年、少しも読みが巧くならない日々ですが、気持ちだけはと思って何とか続けています。ここで少し“物語の語り手の草分け”の方のお話を紹介しながら、自分自身の現状を確認して、今後に役立てたいと思います。

この松岡享子さんというのは、1935年神戸市生まれの翻訳家、児童文学研究者、図書館学の専門家です。大学、海外留学での研究の後、自宅で家庭文庫をひらいて、子供達に接しながら、同志の方々と「東京子ども図書館」を設立、主に子供達への読み聞かせの世界で活躍されて来ました。内容的には、子供達への物語等の朗読の基本という事で、我々の取組の音読・読みの世界とは少し異なるかもしれませんが大いに参考になる部分が多々あると思い、紹介します。

まず、「話すこと」の第一章「よいかたり」の中で彼女は「語り方は語り手の数だけあり、素人としての語りにはそれに相応しい形が有る」と述べ、３つのポイントを挙げています。

①語り手の気持がこもっている事
②聞き手がらくに聞ける事
③物語が絵になってよく見える事

そしてそれを実践するために「３つのS」を提唱します。

・Simply（簡潔に）
・Slowly（ゆっくりと）
・Sincerely（誠実に）

がそれです。

次に第二章「声について」の中で、目指すのは「楽に聞ける声」であり、その為には「芯のある声」を目指すと説き、それは「たっぷり息を使って、実体のある声を出す事」だと説明します。決め手は「どういう声の出し方をしたら、楽か、疲れないか、気分が良いか、自分の声がはっきり見えてくるかに注目する事である」と話します。「一つの注目点は、濁りの無い母音であり、母音を明瞭に発音する事を心がけるべきである」と秘訣の一つを語ります。そして「声は、最初、自分の耳には、とんでもなくかん高く聞こえるものだ」と指摘します。又、人は「声を出す前に、自分の出す声のイメージをちゃんと頭の中に持っているもので、そのイメージに合わせて声を出している」と話しています。

その次の第三章「発音とリズムについて」では「発音に関してとくに気になるのは、語尾が消えてしまうくせと、言葉がすべる癖です」と述べた後、「語尾がうやむやになりますと、語られた事の内容が、聞き手の心の中にしっかりと納まらない。言葉がすべる癖も別に急いでいる訳でも無いのに言葉の中に二つの音を、くっつけて発音してしまう事で、例えば『枯れ枝』を『カエダ』と言うようにラ行の音が絡んでいる言葉に多い」と言います。

次にリズム(抑揚)について、良くない事例を挙げています。例えば、「一所懸命のあまり、どのことばにも、どの文章にも、均等に力を入れて語る人がありますが、聞き手は、語り手の熱心につられて、一々うなずいて聞くものの、結果として話全体がよく見えてこない、という事になります。・・・こういう調子で語られると、聞き手はすぐに疲れます。・・・これは息の量とも関係し、ひんぱんに息継ぎをしなくてはならないと、どうしても小刻みに切る事になり、しかも、往々にして、息の継ぎ目に妙な強調がついて、必ずしも語り手が望んでいないリズム(抑揚)が生まれてしまうのです。」と言います。

又、第四章「速さ(テンポ)について」の中で、松岡さんは、語りについて朗読との違いを踏まえつつ次の様に話します。「話の適切な速さは聞き手との対話を成立させるかどうかで決まってくるのです。・・・『ゆっくり』ということは、言葉を変えて言えば、聞き手と心をかよいあわせつつ”という事だと思います。・・・語りにテクニックと言うものが有るとすれば、間のとり方こそそれだと思います。・・・間は、だまっている時間の事ですから、ことばでは何も言わない訳ですが、間を取る事で、前後の言葉に、おのずと、説明がついたり、意味づけがされたりするというのは、おもしろい事です。」子供達を前にしての語りと、私達の朗読、音読とは少し違いますが、ここには人と人との本来の交流の一環としての対話の精神が息づいていると感じました。

朗読を「実務的」「組織的」に、より洗練されたものへとスキルアップする事は大事な課題ですが、それとは別に昔から続く、人の語りの心持と言った、変わらぬ有り様が松岡さんの語りの話に感じられます。気さくな語り口で彼女はこうも話します。「人には、本来、せっかちな人や、のんびりした人があるのですから、話すテンポも、語り手によって、ある程度決まります。その人にとって、いちばん自然で、いちばん快い速さというのがあるからです。そして聞き手も、自分達の要求する速さを持っています。要は、聞き手との対話が成立するかどうかです。キャッチボールの球のように語り手と聞き手の間に話がやり取りされ、双方が楽しい思いをする事が出来ればその時、話はよい速さで語られ、適当な間が取れているのです。間が空白と化さない準備をしておいてから、思い切って話を聞き手に投げかけるようにして、その手応えを感じつつ語っていく事です。」

そして終わりの章「よい語りをめざして」の中で、三つの要点を挙げます。
①すべては感じる事
②話に気持ちを集中する事
③聞き手の気持に応える
です。
そして「語りは、決して言葉にした時ほど複雑なものでは有りません。いつも分析的にものを考えて、自分の語り方を意識しているわけでは有りません。むしろ、意識していない時によい語りが出来るのだという事です。・・・いざ聞き手の前で語るとなれば、その時はすべて忘れて、語る物語に心を注ぐ。語る時は、自分の事ではなく、話の事を第一に考える。」と強調されるのです。

ご紹介した語りの要点の中には、疑問に思われる内容も多々有る事でしょう。私自身はある種救われた心持ちで、今後も朗読・音読を続けたいと思いました。一つの参考にして頂ければ幸いです。

・参考図書「子どもと本」岩波新書

『話すこと』　松岡享子 著
東京子ども図書館　1991年発行

レポーター：木村（きむら） 謹治（きんじ）

北新地 チャイニーズ 響香-Kyoka

【所在地】　大阪市北区曽根崎新地1-1-41　アストリアジロービル
【電話番号】　06-4256-8668
【行き方】　JR北新地駅 11-41 出口から徒歩約７分
【営業時間】　ランチ 11:30～15:00（LO14:30） ／ ディナー18:00～23:00
【定休日】　不定休
【URL】　https://chinese-kyouka.gorp.jp/

大阪駅前第３ビルを南に渡り、大和証券大阪支店から、３つ目の道を北新地通り（右）へ曲がりほんの少し歩いた左側のビルの１階にありますが、ビルの奥まったところに入口があるので、うっかり通り過ぎてしまう恐れがあります。真っ赤な扉が目印。近くには「味 神田川」があり、それを目印に行くのもいいかもしれません。

外観は中華料理というよりスナック風です。店内は落ち着いた空間で、これも普通の中華とは一線を画す造り。

テーブル席が並ぶ店内はテーブルごとにパーティションで仕切られ、圧迫感なくプライベートも保たれます。

デザイナー設計の店内は、上質な雰囲気で落ち着いた高級感のある店内です。内装にもこだわり優雅な時間を過ごせ、少しリッチな気分になれます。

ヒルトンホテルなどで経験を積んだ店主と、ホテルや有名店出身のシェフが腕を振るうとあって美味しさは折り紙付きですが、価格はとてもお手ごろです。

ランチメニューは
日替わりセット　1,000円
担々麺セット　1,000円
麻婆豆腐セット　1,000円
響香ランチコース　2,600円／3,850円
で、日替わりセットは月曜日～土曜日で日替わりメニューとなっています。

月　油淋鶏（ユーリンチー）
火　白身魚のチリソース
水　黒酢の酢豚
木　鶏肉の甘辛炒め
金　白身魚のトーチ炒め
土　豚肉のピリ辛味噌炒め
いずれも、一品料理、サラダ、小鉢、ザーサイ、ライスで、ご飯はおかわりができます。

食べたのは黒酢の酢豚です。美味しかったので店のHPを見ると「茹でて、焼いて、煮て、蒸すため、豚に味が染み込んで柔らかく仕上がる。八角や桂皮、南乳（豆腐の発酵調味料）が入っているので香辛料の風味が効いている。ほんのり甘く、ジューシーな仕上がり。」と書かれていました。

小鉢は白身魚のチリソース。カリッカリで香ばしい歯応えの衣に、中は熱々ふわふわの白身。それに、軽やかでとても美味しい香味スパイスがかかっています。

更に驚いたのはジャスミンティー。こんなに香りが良く、美味しいジャスミンティーは久々でした。

Q&A

【前回のお悩み】
・利用者が眠ってしまった時、どう対応すればいいでしょうか？

「対面リーディングの集い」でも毎年取り上げられるこのお悩み、対面においては永遠のテーマなのかも知れません。起こす方、起こさない方、皆さん様々な思いをお持ちです。
まず「起こす」という意見の方は、直接声をかけるほか、「ちょっとお茶を飲んでいいですか？」など自然な会話をする、少し休憩を入れるなどの工夫をされています。
一方「起こさない」という意見では、声を聞いているのが心地いいのだろうと思う、とか寝てしまうのは仕方ない、特に気にしないなどのお声がありました。
「これが正解」という対応があるわけではないのですが、大きないびきや多量の汗をかいているなど、異常を感じた場合はすぐに職員にお声がけをお願いします。

ちょっとひといき

漢字一文字で表す国名

2020年は東京オリンピック・パラリンピック開催！のはずが、新型コロナウイルスの影響で１年延期という想像もしない事態となってしまいました。
来年こそ無事に開催されることを願いつつ、「漢字一文字で表す国名」をいくつかクイズでご紹介します。新聞のスポーツ欄を読む時などに役に立つかも？

【問題】次の漢字一文字はどの国名を表しているでしょうか？

①星　②沙　③新　④墨　⑤伯　⑥氷　⑦愛　⑧希　⑨葡　⑩埃

【解答】

①シンガポール　「星嘉波」の略
②サウジアラビア　「沙地亜剌比亜」の略
③ニュージーランド　「新西蘭土」の略
④メキシコ　「墨西哥」の略
⑤ブラジル　「伯剌西爾」の略
⑥アイスランド　「氷島」の略
⑦アイルランド　「愛蘭土」の略
⑧ギリシャ　「希臘」の略
⑨ポルトガル　「葡萄牙」の略
⑩エジプト　「埃及多」の略

上記以外の表記をする場合もあります。新聞に載るには特殊すぎたかも知れませんね。
この記事は以下のHPを参考にしました。

漢字国名一文字表記(略称)一覧
https://abhp.net/alacarte/Alacarte_Kanji-Kokumei_000000.html

ありがとうございます

例年3月に行われるボランティア交流会において
ボランティアで長年ご活動いただいている皆様が表彰を受けられるのですが、
今年は交流会を中止せざるを得ない状況となり非常に残念でした。
ここでは今年活動30年を迎えられた麓さんと、20年の眞野さんをご紹介いたします。

・麓 孜子（ふもと　あつこ）さん

専門書から小説、郵便物に至るまで幅広い分野を読んでいただいています。
利用者さんに柔らかい雰囲気で対応されている、穏やかな笑顔がとても印象的です。

・眞野 祥子（まの　さちこ）さん

主に英語の原書を対面で読んでいただいていますが、古典から専門書まで様々な
資料をお願いした時も快くお引き受けいただき、とても頼もしい存在です。

長年のご活動ありがとうございます。これからもどうぞよろしくお願いいたします。

おしらせ

・情報文化センターのホームページをご確認ください

今般の新型コロナウイルスの感染状況は日々変化しています。今後のボランティア活動をはじめとする館内活動について、情報文化センターのホームページで随時お知らせを更新しています。パソコンやスマートフォンなどをお使いの方は、ぜひご確認をお願い致します。インターネットがご利用になれない方はお電話にてお問い合わせください。

・「マスク熱中症」にご注意を！

緊急事態宣言で外出を控える中、気がつくと真夏のような暑さになりました。気温に体がなれていないため注意が必要ですが、今年は「マスク熱中症」にも要注意です。マスクをしているとのどの乾燥が抑えられ、そのため脱水に気づきにくくなるそうです。対面の時も意識して水分を補給するよう注意してください。

正直、初めは軽く考えていたコロナウイルス、まさかここまで大変な事になるとは…。第2波も心配されています。マスクに手洗いでしっかり予防したいですね。（F）

日本ライトハウス 情報文化センター
550-0002 大阪市西区江戸堀1-13-2
06-6136-7704（対面専用）
06-6441-0039（サービス部）